

## はじめに



平成16年度、本市は広域の市町村合併により大きく飛躍しようとしています。この合併により、市民の皆様が今まで以上に住みやすい、暮らしやすい街となるよう取り組む必要があります。市民の皆様が健やかに心豊かに生活できること、これは一人ひとりの切実な願いでもあり、行政として果たして行かなければならない重要な責務であります。

しかし、かつて経験したことのない少子高齢社会へ急激に移行している現在、健康に関しては、がんや心臓病、脳卒中といった生活習慣病が増加して、大きな社会問題となっております。これは、本市においても早急に対処しなければならない課題であります。

国においては、21世紀の国民健康づくり運動として「健康日本21」を、群馬県においては、元気で豊かな群馬県を実現する健康づくり運動として「元気県ぐんま21」をそれぞれ策定し、健康づくりを推進しています。

「健康まえばし21」は、国や県と同様に、市民の健康づくりに取り組む市民のための健康増進計画として策定いたしました。市民の皆様が生涯を健康で希望を持って生きていける社会とし、本市をより活力ある街へと発展させることを「健康まえばし21」は目指しています。

健康づくりは、一人ひとりの個人が自分の健康観に基づき、自ら取り組むことがとても大切です。本計画の推進にあたっては、この考え方を基本とし、個人の健康づくりに対する取り組みに対し、地域や学校、関係する機関、行政などが支援して行くことを前提としており、みんなでとりくむ健康づくり運動にしたいと考えております。

市民の皆様には本計画の趣旨をご理解いただき、自ら進んで生活習慣の見直しを行い、生活習慣病の予防に心がけ、地域や学校、関係する機関の皆様には、個人の健康づくりが効果的に行えるようご協力をよろしくお願い致します。

末筆となりましたが、この計画の策定にあたりまして、アンケート調査への協力をはじめ、計画の策定に貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様や関係機関の方々に心より感謝申し上げます。

平成16年3月

前橋市長 高木 政夫